



2023年 8月 9日

報道関係者 各位

## ウアイヌコロコタン (ウポポイ) アカラワレパオカケタ ～ネコンアンクニプ「共生」ネヤ～

北海道大学アイヌ・先住民研究センター×国立アイヌ民族博物館 共催

### シンポジウム「ウポポイ3周年を迎えて～共生の道をいかに歩むのか」

2023年7月、ウアイヌコロコタン（民族共生象徴空間 愛称：ウポポイ）は3周年を迎えました。ウポポイが果たすべき役割には、「アイヌ文化の復興・創造等の拠点」であること、また「将来に向けて先住民族の尊厳を尊重し、差別のない多様で豊かな文化を持つ活力ある社会を築いていくための象徴」であることがあります。

この大きな役目をどのように果たしていくのかを考えるため、3周年という節目を契機に、アイヌ テエタワノアンクル カンピヌイエ チセ（北海道大学アイヌ・先住民研究センター）と、アヌココロ アイヌ イコロマケナル（国立アイヌ民族博物館）は、2023年8月29日（火）に、「共生の道をいかに歩むのか」と題したシンポジウムを共同開催します。第1部で、先住民族の文化展示について、北海道大学山崎幸治教授に事例紹介をしていただきます。第2部ではアイヌの歴史や文化がこれまでどのように伝承され、研究されてきたのか、2つの主催団体の代表者が対談形式で振り返ります。そして第3部では、実際に事業に従事している職員がパネリストとなり、文化伝承や文化紹介の場でどのような課題や成果が生まれているかを検討します。

ぜひご取材、ご出席いただきたくご案内申し上げます。

\*北海道大学アイヌ・先住民研究センターと国立アイヌ民族博物館は、2020年11月に「学術連携・協力に関する協定」を結び、毎年研究会や公開シンポジウムなどを開催しています。本事業は同協定による事業です。

日時：2023年8月29日（火）14:30～17:30

場所：民族共生象徴空間ウポポイ 体験学習館別館3

参加費：無料（ウポポイへの入場料金が別途必要です）

参加方法：〔会場での参加〕直接会場へお越しください（当日受付定員80名・先着順、途中入退場可）

〔オンラインでの参加〕登録フォームよりお申込みください（先着順定員500名）

主催：北海道大学アイヌ・先住民研究センター、国立アイヌ民族博物館

お申込み：国立アイヌ民族博物館ウェブサイト（<https://nam.go.jp/activity/event/symposium230829/>）

本件に関するお問い合わせ先

国立アイヌ民族博物館 事業課 広報担当 〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2-3-1

TEL: 0144-82-3914（ウポポイ代表） FAX: 0144-84-8797 E-mail: [information@nam.go.jp](mailto:information@nam.go.jp)

【ご取材時のお願い】

- ・ 職員のプライバシーを保護するため、ご取材時の写真・映像の撮影は第2部までとさせていただきます。
- ・ 第3部の内容に関しまして、個人の発言の引用にはご配慮をお願いいたします。
- ・ 各登壇者への事後インタビューをご希望の方は事前にお知らせください。

【シンポジウムの進行（予定）】

14:30-14:40 開会・趣旨説明

14:40-15:10 〔第1部〕講演「先住民族展示に関わる事例紹介——海外の博物館を中心に」  
北海道大学アイヌ・先住民研究センター 教授 山崎 幸治

—5分休憩—

15:15-16:00 〔第2部〕対談「世間のアイヌ・イメージを気持ち良く裏切る」  
北海道大学アイヌ・先住民研究センター センター長 加藤博文  
国立アイヌ民族博物館 館長 佐々木史郎

—10分休憩—

16:10-17:20 〔第3部〕パネルディスカッション「文化振興と自律性～進化形文化事業」

モデレーター：

北海道大学アイヌ・先住民研究センター 教授 北原 モコットウナン

パネリスト：

民族共生象徴空間運営本部 主事 ラリウ（杉本リウ）

民族共生象徴空間運営本部 主任 ムカラ（山道陽輪）

国立アイヌ民族博物館 学芸主査 イサイカ（北嶋由紀）

国立アイヌ民族博物館 研究主査 ナアカイ（中井貴規）

17:30 閉会

\*登壇者、内容などは変更になる場合があります

本件に関するお問い合わせ先

国立アイヌ民族博物館 事業課 広報担当 〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2-3-1

TEL: 0144-82-3914（ウポポイ代表） E-mail: information@nam.go.jp

FAX: 0144-84-8797